

# 泉っしん



阿賀野市立笹岡小学校  
平成25年6月12日  
No 3

## 学び合う子ども

校長 本間 正人

5月25日の運動会には、大勢の保護者・地域の皆様から最後まで大きな声援をいただき、ありがとうございました。

さて、子どもたちの学力実態を客観的に評価し、今後の指導に生かすために4月にNRT（全国標準診断的学力検査）を行いました。2、3年生は「国語・算数」、4～6年生は「国語・社会・算数・理科」を行い、昨年度の学習内容の定着状況を確認しました。その結果についてお知らせします。

偏差値「50」が全国平均です。「↑」は同一学年で昨年と比べて上がったことを、「↓」は下がったことを表しています。

結果から分かることは、「国語・算数」では、ほぼ全学年で全国平均を上回り、学校全体でも全国平均を上回っています。「社会・理科」では、ほぼ全国平均並みです。また、4教科ともほとんどの学年で昨年と比べて向上したことが分かります。

NRT（全国標準診断的学力検査）の結果 （H25.4実施、数字は偏差値平均）

	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	笹小全体
国語	51.3	52.9 ↑	54.9 ↑	49.6 ↑	50.0 ↑	51.6 ↑
社会			50.1	50.7 ↑	49.2 ↑	49.9 ↑
算数	53.2	50.8 ↓	52.9 ↑	51.1 ↑	51.4 ↑	51.8 ↑
理科			50.3	49.4 ↓	50.0 ↑	49.9 ↑

向上した原因は大きく3つあると考えています。1つ目は、教師と子どもたちの努力です。当校では、昨年度「一人一人の確かな学力の定着を目指して」を研究テーマとして、教師一人一人が授業づくりの課題やテーマをもって、毎日「分かる・できる」授業づくりを意識して取り組んできました。それに応えて子どもたちもがんばりました。その成果だと思っています。2つ目は、教師が何を教えただけではなく、子どもたちに何が身に付いたかを大切に、県のWeb配信問題や学年テスト、サポート問題など、学習内容の定着を図る活動を充実したことです。3つ目は、家庭学習の成果です。保護者の皆様が子どもたちを意欲付け、子どもたちもがんばったからだと思います。

その一方で、昨年度末に次のような課題もあげられました。

- ・基礎的な知識や技能の定着とそれらを活用して問題解決する思考力、表現力がまだまだ十分とは言えない。
- ・自分の考えを書いたり、発表したりできる子どもたちが多くなってきているが、苦手意識をもっている子どもも多い。
- ・家庭学習が身に付いてきた子どもが増えてきたが、身に付いていない児童もいる。

そこで、今年度は、「子どもたち同士が互いにかかわり合って考えを深め、意欲的に表現できる子どもの育成」を研究テーマとして、全教師で効果的な手立てや指導法を探り、確かな学力の定着を目指しています。

授業で勝負するのが教師です。教師の毎日の授業改善と授業力向上で子どもたちの学力は大きく変わってきます。現在、新潟県や阿賀野市の最重要課題は学力の向上です。当校も同じです。子どもたち一人一人の学力が少しでも向上するように、これからも教師の授業力向上に努めていきます。

ご家庭でも、学校での学習内容が確実に身に付くよう、これまで以上に意欲付けや励ましを行い、家庭学習習慣の定着をお願いいたします。